

平成21年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成22年7月22日(木)にハynesホテル久留米において開催された。

この検討会には、試験場関係者26名、委託関係者11名ほか、計49名の参集を得て、秋冬作除草剤7薬剤(31点)、

春夏作除草剤10薬剤(15点)、秋冬作生育調節剤4薬剤(14点)、春夏作生育調節剤3薬剤(8点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成21年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AKD-7164水和 シナジオン 50% [アグロネーション]	サトウ	作用性 新規	植調研究所 福岡農総試 (2)	[一年生雑草(ツメクサ除く)] ・サトウ生育期(定植後1ヶ月以降、 草丈30cm以上)、 雑草発生始期 ・100, 150, 200g<100L> ・畦間・株間土壌処理 (地際から10cmに散布) 対) 一任(土壌処理剤単用) 参) トルファノサイド乳300mL<100L> 定植後、雑草発生前	継	継) ・効果、薬害の確認
	サトウ	適用性 継続	植調研究所 大分野菜<中間> (2)	[一年生雑草(ツメクサ除く)] ・定植後 雑草発生始期 ・50, 100, 150g<100L> ・土壌処理 対) 一任		
2. ALH-0831 (旧S-604)乳 クレトシム 23% [アリスタライサイエンス]	キャベツ	適用性 継続	福岡農総試 植調鹿児島大隅 (2)	[一年生イネ科雑草] ・キャベツ生育期、雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) ・50, 75mL<100L> ・茎葉処理 対) ナブ乳剤 150mL<100L>	実	実) [秋冬作、露地;一年生イネ科雑草] ・生育期 イネ科雑草3~5葉期 ・50~75mL<100L>/10a ・全面茎葉処理 注) ・イネ科雑草優占圃場で使用する ・広葉雑草が発生する場合は土壌 処理剤との体系処理で使用する
	ダイコン	適用性 継続	植調研究所 福岡農総試 佐賀白石 宮崎畑園 <H20未了分> 植調鹿児島大隅 (5)	[一年生イネ科雑草] ・ダイコン生育期、雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) ・50, 75mL<100L> ・茎葉処理 対) ナブ乳剤 150mL<100L>	継	継) ・効果、薬害の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. BAH-0805乳 ジメチアミドP 19.7%、 ペンテイメタリン 23.1% (w/w) [BASFジャパン]	タマネギ	適用性 継続	植調青森 兵庫淡路 和歌山農試 福岡農総試 (4)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 200, 300, 400mL<100> ・ 土壌処理 対) コーゴースト乳剤30 300mL<100>	実	[秋冬作、露地; 一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~400mL<100L>/10a
4. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ニンニク	適用性 新規	植調青森 和歌山農試 香川農試 (3)	[一年生雑草] ・ ニンニク生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100L>, 500mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ニンニク	薬害 新規	植調青森 香川農試 (2)	[薬害試験] ・ ニンニク生育期 ・ 500, 1000mL<25L> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
5. TMZ-9911液 ヨウ化メチル 99% [アリスライフサイエンス]	ネギ (直播)	適用性 継続	植調研究所 和歌山農試 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) ハースミッド微粒 20kg 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起(3日間放置) →播種	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	コホウリ	適用性 継続	植調研究所 岡山農試 福岡豊前 (3)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロレキリン 30L(3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起(3日間放置) →播種	実・ 継	実) [秋冬作、露地または施設; 一 年生雑草] ・ 播種前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 15~20kg/10a 注) ・ 薬剤容器を被覆資材下に設置 し、くん蒸処理後3日間密閉、放 置する。処理4日後に被覆除去 し、処理後7日後を目安に耕起す る。耕起4日以後に植付ける。 ・ 過湿条件では出芽抑制を生ずる ことがある 継) ・ 年次変動の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬 剤 名 ・有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
6. プロピザミト水和 プロピザミト 50% [タケカキ日本]	レタス	適用性 継続	植調研究所 兵庫淡路 福岡豊前 (3)	[一年生雑草(キ科・カヅリグサ科除く)] ・定植後 雑草発生前 ・200, 300g<100L> ・全面土壌処理	実・ 継	実) [秋冬作、露地：一年生雑草(キ科、カヅリグサ科を除く)] ・定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200～300g<100L>/10a 継) ・年次変動の確認
	タマネギ	作用性 新規	兵庫淡路 (1)	[一年生雑草(キ科・カヅリグサ科除く)] ①タマネギ生育期(3月を目安) 雑草発生前 ・200, 300g<100L> ・全面土壌処理 ②タマネギ生育期(4月を目安) 雑草発生前 ・200, 300g<100L> ・全面土壌処理	—	(作用性)
7. ANK-553(改)乳 ペンデメタリン 30% [BASFアグロ]	タマネギ (秋播)	適用性 継続	長崎総農試 〈H20未了分〉 (1)	[一年生雑草(キ科、ツクシを除く)] ・定植前(マルチ前) 雑草発生前 ・300mL<70, 150L> 500mL<70L> ・土壌処理 対) 慣行	実	実) [秋冬作、露地：一年生雑草(キ科、ツクシを除く)] ・定植前(マルチ前) 雑草発生前 ・300～500mL<70～150L>/10a ・全面土壌処理

B. H21年度 春夏作野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 グリホサートナトリウム塩 11.5% [明治製菓、 北興化学工業]	キボウシ	適用性 継続	山形農研園試 (1)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・展着剤不要 対)ハーブ液剤 300mL<100L>	—	・前回の判定どおり(実)
	キボウシ	薬害 継続	山形農研園試 (1)	[倍量薬害] ・生育期 ・畦間茎葉処理 ・500mL<100L> 1000mL<100L> ・展着剤不要		

B. H21年度 春夏作野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
2. AK-01液 クゝリホサートイソフゝロピゝルアミン 塩 41% [TAC普及会]	ニンジン	適用性 新規	南九州大学 (1)	[一年生雑草] ・耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・200mL<100L>, 500mL<100L> ・展着剤不要 対)三共の草枯らし 500mL<100L>	—	・前回の判定どおり(継)
3. HCW-2017ロアアゝル DCMU 50% [保土谷UPL]	ヤマノイモ	適用性 継続	三重農研 (1)	[一年生雑草] ・植付後萌芽前、 雑草発生前～始期(イネ科雑草3 葉期以内) ・茎葉兼土壌処理 ・100, 150, 200mL<100L> ・展着剤加用 対)ロックス水和剤 100g<100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・植付後萌芽前 雑草発生始期 (イネ科雑草3葉期以内) ・茎葉兼土壌処理 ・100～200mL<100L>/10a 注) ・イネ科雑草が2葉期を越える場合 は、展着剤を加用する
4. NC-3607ロアアゝル キザゝロホッアゝエチル 7% [日産化学工業]	キャベツ	適用性 新規	福島浜地域 (1)	[一年生イネ科雑草(スゝメノカタビゝラを 除く)] ・キャベツ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・全面茎葉処理 ・200mL<100L> ・展着剤不要 対)一任	—	・前回の判定どおり(継)
5. NC-622液 クゝリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ピーマン	薬害 継続	<石川砂丘地> (1)	[倍量薬害] ・生育期 ・畦間茎葉処理 ・500, 1000mL<25L>, ・展着剤不要	—	・前回の判定どおり(実)
	カラシ	適用性 継続	徳島中山間 (1)	[一年生雑草] ・穂木採取前(カラシ生育期) 雑草生育期(草丈30cm以下) ・茎葉処理 ・200mL<25, 100L>, 400mL<25L> ・展着剤不要 対)ラウンドゝアップゝハイロゝトゝ 500mL<25L>	—	・前回の判定どおり(実)
6. SL-121顆粒水和 フルシゝホッアゝP 7%, リニユロン 20% [石原産業]	ニンジン	適用性 新規	南九州大学 (1)	[一年生雑草] ・ニンジン生育期(3～5葉期) 雑草発生始～生育期 ・全面茎葉兼土壌処理 ・250, 375, 500g<100L> ・展着剤不要 対)一任	—	・前回の判定どおり(継)

B. H21年度 春夏作野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
7. SL-122顆粒水和 70%アジソンP 7%, リニロン 30% [石原産業]	ニンジン	適用性 新規	南九州大学 (1)	[一年生雑草] ・ ニンジン生育期(3~5葉期) 雑草発生始~生育期 ・ 全面茎葉兼土壌処理 ・ 170, 250, 330g<100L> ・ 展着剤不要 対)一任	一	・ 前回の判定どおり(継)

C. H21年度 春夏作花き関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 グリホサートナトリウム塩 11.5% [明治製菓、 北興化学工業]	ストック	適用性 継続	新潟農総園研 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300mL<100, 150L> 500mL<100L> ・ 展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100L>	一	・ 前回の判定どおり(実)
	ストック	薬害 新規	新潟農総園研 (1)	[倍量薬害] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500, 1000mL<100L> ・ 展着剤不要		
2. NC-622液 グリホサートナトリウム塩 48% [日産化学工業]	カーネーション	適用性 継続	茨城農総研 (1)	[一年生雑草、多年生雑草] ・ 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 茎葉処理 ・ 200mL<25, 100L> 500mL<25L>	一	・ 前回の判定どおり(実・継)
	カーネーション	薬害 継続	茨城農総研 (1)	[倍量薬害] ・ 耕起直前 ・ 土壌処理 ・ 500, 1000mL<25L>		
3. YF-65L液 ジクワット 7%, パラコート 5% [シンジェンタ ジャパン]	カーネーション	適用性 新規	茨城農総研 長崎農技 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期(草丈20cm以下) ・ 畦間茎葉処理 ・ 600mL<100, 150L> 1000mL<100L> 対) バスタ液 300mL<100L>	一	・ 前回の判定どおり(継)

D. 野菜関係 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 〔対象雑草:ねらい〕 ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8151 (L)液 1-ナフチン酢酸トリウム 0.2% 〔アグロパシヨウ〕	メロン	適用性 新規	静岡農試 南九州大学 (2)	〔果実肥大及びネット形成促進〕 ・ 縦ネット発生期～横ネット発生期 ・ 3000, 4000倍<100-200mL/株> 1回および2回 ・ 株散布 対) 7-グント [®] 液 2000倍 1回または2回	実 ・ 継	実) 〔果実肥大及びネット形成促進〕 ・ 縦ネット発生期～横ネット発生期 ・ 1000～2000倍<100-200mL/株> ・ 2回以内 ・ 株散布 継) ・ 3000～4000倍処理での効果の確認

E. 花き関係 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 〔対象雑草:ねらい〕 ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. CX-10液 シアナト [®] 10% 〔日本カーハイト [®] 〕	コデマリ	適用性 新規 (自主)	静岡農試 (3)	〔休眠打破による開花促進〕 ・ 休眠覚醒期(摘葉後約1週間) ・ 30, 40倍/15倍(倍量葉害区) 十分(液が滴り落ちる程度) ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、葉害の確認
2. NGR-081水溶 イソプロパチオン 0.01% 〔日本農薬〕	カーネーション	適用性 新規	広島農技 福岡農総試 長崎農技 (3)	〔発根促進〕 ・ 定植前 ①挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ②挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・ 浸漬時間 10秒, 1時間 対) オキシ [®] 液 慣行量	継	継) ・ 効果、葉害の確認
	キク	適用性 継続	愛知東三河 広島農技 福岡農総試 沖縄農研 (4)	〔発根促進〕 ・ 定植前 ①挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ②挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・ 浸漬時間 10秒, 1時間 ・ 対) オキシ [®] 液 慣行量	実 ・ 継 (従 来 ど お り)	実) [キク; 発根促進] ・ 定植前 ・ 挿し穂基部浸漬 10～50mL/水1L(1～5ppm) 10秒～1時間 ・ 挿し穂全体浸漬 5mL/水1L(0.5ppm) 10秒～1時間 継) ・ 年次変動の確認
3. ダミシ [®] 水溶 ダミシ [®] 80% 〔日本曹達〕	キク (切花)	適用性 継続	広島農技 福岡農総試 (2)	〔節間伸長抑制〕 ・ 4000, 5000倍希釈 (散布量50～150L/10aの範囲で 十分量) ・ ①定植～発蕾前 1回 ②定植～発蕾前 4回 ③定植～発蕾前 4回 →発蕾期～摘蕾期 2回 ・ 茎葉処理	実	実) 〔キク; 節間伸長抑制〕 ・ 生育期(定植～発蕾前) 4回以内 ・ 500～5000倍希釈 <散布水量50～150L>/10a (十分量) ・ 茎葉処理 (茎葉の先端部に散布) 注) ・ 高濃度処理や、処理回数が多い と、収穫時期遅延や花品質の低 下を生じることがある。

F. H21年度 春夏作花き関係 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. NGR-081水溶 イソプロパチオン 0.01% [日本農薬]	カーネーション	適用性 新規	広島農技 長崎農技 (2)	[発根促進] ・定植前 ①挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ②挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・浸漬時間 10秒, 1時間 対)オキシエチレン 慣行量	一	・前回の判定どおり(継)
	キク	適用性 継続	沖縄農研 (1)	[発根促進] ・定植前 ①挿し穂基部浸漬(10, 50mL/1L) ②挿し穂全体浸漬(1, 5mL/1L) ・浸漬時間 10秒, 1時間 対)オキシエチレン 慣行量	一	・前回の判定どおり(継)
2. ダミノジクト水溶 ダミノジクト 80% [日本曹達]	アザミ	適用性 継続	山形農研園試 新潟農総園研 福岡果樹苗木 (3)	[節間伸長抑制] ・200, 400倍希釈 (散布量50~150L/10aの範囲で 十分量) ・茎葉処理 ・①摘芯後 1回 (摘芯約1ヶ月後) ②摘芯後 2回 (2回目は1回目の約1ヶ月後) ③摘芯後 3回 (3回目は2回目の1-2ヶ月後)	実 ・ 継	実) [アザミ;節間伸長抑制] ・摘芯後 3回以内 ・200~400倍希釈 ・散布水量50~150L/10a (十分量) ・茎葉処理 注) ・1回目は摘芯1ヶ月後を目安とし て散布する(複数回散布する場 合は1ヶ月程度の間隔とする) 継) ・1回散布での効果の年次変動に ついて
	パゼー	適用性 継続	神奈川農技 (1)	[節間伸長抑制] ・200, 400倍希釈 (散布量50~150L/10aの範囲で 十分量) ・茎葉処理 ・①鉢上げ後 1回 (鉢上げ約1週間後) ②鉢上げ後 2回 (2回目は1回目の1~2週間後) ③鉢上げ後 4回 (3回目は2回目の1~2週間後、4 回目は3回目の1~2週間後)	実 ・ 継	実) [パゼー;節間伸長抑制] ・鉢上げ後 4回以内 ・200~400倍希釈 ・散布水量50~150L/10a (十分量) ・茎葉処理 注) ・1回目は鉢上げ1週間後を目安と して散布する(複数回散布する 場合は1週間程度の間隔とす る) ・開花が遅延することがある ・花の白色部が黄化することがあ る 継) ・年次変動の確認
3. ダミノジクトスプレー ダミノジクト 0.4% [日本曹達]	アザミ	適用性 継続	新潟農総園研 (1)	[節間伸長抑制] ・摘芯後7~30日 1回 ・茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対)ビオイン水溶剤80 150~200倍 茎葉散布	継	継) ・効果、葉害の確認